

# パラスポーツセンターのサウンディング型市場調査実施結果概要

## 1. 調査期間

(申込) : 令和7年11月19日(水曜日)から12月3日(水曜日)

(調査) : 令和7年12月24日(水曜日)

## 2. 参加事業者数

1者

## 3. 主な対話事項

### (1) 民間事業者から見た施設の課題・魅力

#### ア 施設及び設備の課題・魅力

- ・施設がきれい・冷暖房完備・体育館床面の材質・駐車場が広く、使用しやすい
- ・駐車場ロータリーに屋根が付いており、車いす利用者も濡れず、利便性が高い
- ・体育館の音響が聞きづらい構造になっている
- ・弱視の方への施設配慮が足りない
- ・だれでもトイレの開閉が遅い
- ・体育館東側上の壁が白く、バドミントンのシャトルが見えづらい
- ・バスケットボールが両面できない
- ・規定のコートサイズではないため、大会開催ができない
- ・ドアの隙間から虫や雨水が入ってくる
- ・施設の場所が分かりづらく、大通りから入ってくる道が狭い
- ・青少年センター駐車場を利用する方が多い為、21時に青少年センターの駐車場が閉められない
- ・屋上の床面が白く太陽光が反射して眩しく、監視カメラがないため安全面の補償ができない
- ・待機場所であるロビーが寒い

#### イ ソフト事業の課題・魅力 等

- ・運動サポーターのニーズが多い
- ・やまパラまつりの実施
- ・日本ボッチャ協会や日本ゴールボール協会が利用
- ・JPSCAセンター本登録に向けて、障害者がいつ来ても利用できる施設
- ・指定管理事業と自主事業の区分けが不明確

### (2) 民間ノウハウを活用した県民サービス向上に関する提案

#### ア イベント等の事業展開に関する提案

- ・個人利用者が利用しやすいルールづくり
- ・館外の事業ニーズへの対応
- ・外部イベントの共同開催の依頼対応
- ・イベント等は貸館計画書を利用し、計画書と実施要項に沿って対応相談
- ・県教育委員会とコラボしたボッチャ大会の開催

- ・身近な地域におけるパラスポーツ振興を展開
- ・関連周辺施設との連携し、パラスポーツに関する相談業務の遂行及び立案
- ・障害福祉関係とのイベント開催

#### イ 施設整備に関する提案

- ・弱視者への対応
- ・異性介助が使用できる更衣室の整備
- ・観客席や観覧席の設置
- ・個人利用者が気軽に利用出来るスペースの設置
- ・屋上の有効活用
- ・スタートアップ施設2階カフェを活用した食事スペースの提供

#### ウ 事業方式に関する提案

- ・指定管理期間を5年～10年と長くしてほしい
- ・指定管理期間が短いと、人的投資や機材導入が困難である
- ・障害者雇用の実施

#### エ 管理区分に関する提案

- ・施設管理区画の改定
- ・複数施設の一括管理や敷地の一帯管理
- ・共存共栄できる三者がお互い使いやすいシステムの構築
- ・相互送客・相互告知で相互の利用者を増やす
- ・グラウンドの有効活用
- ・青少年センター駐車場におけるバリカ管理の検討

#### オ 自主事業の提案

- ・ネーミングライツの実施
- ・パラスポーツ用具貸出事業の実施
- ・パラスポ体験会事業・パラリンピック大会小学生観戦事業
- ・現役県内選手によるパラスポーツ体験会
- ・企業スポンサーから出資を受けた自主事業イベントの展開

### (3) 課題

#### ア 利便性の向上

- ・送迎ニーズに対応できる環境整備

#### イ 共生社会実現の場としての取り組み

- ・共生社会のシンボルとしての施設として、ニーズに応じた様々なイベントの開催

#### ウ 山梨県障害者スポーツ協会や山梨県障害者スポーツ指導員協議会との連携

- ・パラスポーツ用具貸出事業やイベント時の協力
- ・障害者スポーツ指導員向けの研修会の実施

## 4. 今後の対応

今回の提案を踏まえ、指定管理業務の検討に活用する。